

未知のマルウェアによる標的型攻撃対策

パロアルトネットワークス PAシリーズ WildFireクラウド / WildFireアプライアンス WF-500

次世代ファイアウォール PAシリーズで検知した未知のマルウェアを分析し、
対策シグネチャの生成・配信を行うサンドボックス環境です。

■ 巧妙に進化し続けるマルウェアへの迅速な対応!

世界中のPAシリーズからマルウェア情報を収集し随時対応するため、
一般的なウイルス対策製品が未対応のマルウェアでも、WildFireならすぐに対策が可能。
また、PAシリーズの各機能にも随時情報が反映されるため、常に最新のセキュリティを維持。



■ プロトコルごとに複数の専用ツールは不要。WildFire1つでまとめて対策!

メールの添付ファイルやブラウザベースのファイルダウンロードなど、さまざまなプロトコルにWildFire1つで対応可能。

■ ご要望に合わせて選べる2種類のWildFireをご用意!

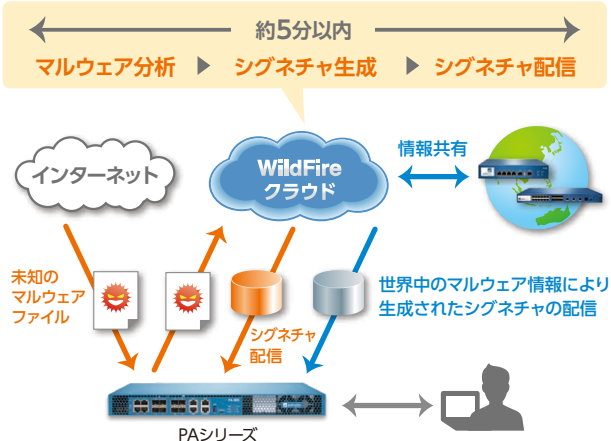
マルウェアファイルの分析と対策をクラウド上で実施するクラウドサービスと、
アプライアンス内部で実施するハードウェア製品の2種類から選択可能。



導入、運用のコストを抑えたい...

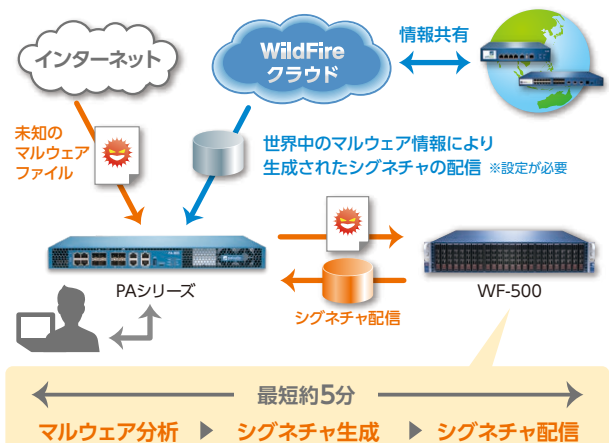
ファイルを社外に送信するのは心配...

WildFireクラウド



- クラウドサービスのため導入・運用が容易
- 未知のマルウェア検知後、約5分以内に分析～シグネチャ配信を実施し、迅速な対策を実現
- クラウド上にある複数種類のOSの仮想マシンで、怪しいファイルを徹底分析

WildFireアプライアンス WF-500



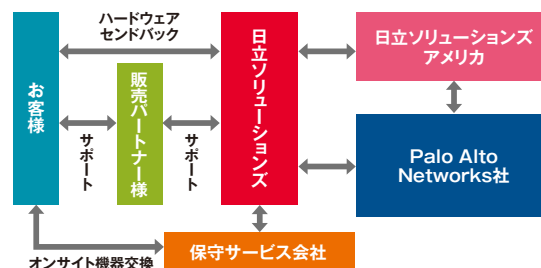
- ファイルを社外に送信せずに、WF-500内で分析、シグネチャ生成が可能
- 連携したPAシリーズにのみシグネチャ配信
※WildFireクラウドからのシグネチャも、設定により追加取得可能です
- 分析～シグネチャ配信を最短約5分で実現



	WF-500
インターフェース	10/100/1000 (×4) DB9コンソールシリアルポート (×1) USB (×4)
ユニットサイズ	2U
外部寸法 (H×W×D/cm)	8.9×48.2×66.5 (突起部分含む)
電源	920W AC電源×2 (冗長、ホットスワップ)
最大消費電力	390W
入力電圧 (入力周波数)	100~240VAC (50~60Hz)
最大消費電流	3.2A@120 VAC
動作時温度	5℃ ~ 35℃、-40℃ ~ 65℃ (非動作時)

日立ソリューションズは、Palo Alto Networks社の製品・技術を熟知し、お客様のニーズに合わせたサポート、ソリューションを提供します。安心してお任せください。

- 製品・技術を熟知したPalo Alto Networks社認定技術者が担当
- OSの検証など、十分な安全性確認を実施してからのお荷
- Palo Alto Networks社との密接な連携による包括的なサービスの実現
- 導入後の運用までトータルにカバーしたメニューの用意



※Palo Alto Networks, Palo Alto Networks Logoは、米国Palo Alto Networks, Inc.の商標、または登録商標です。※秘文は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。



◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/sp/